



▲「海外で紹介したい日本」をテーマに意見を出し合うワークショップのようす。

## 国際理解講座

12月17日、高見早苗さん（NGO ケニアを知る会代表）を講師に迎え、市民館で「国際理解講座」が開催されました。「国際間の相互理解には多様な意見に耳を傾けることが必要。」という高見さんの指導のもと、単なる異文化学習に止まらず、参加者は、ゲームやワークショップを通じて国際交流の原点である“人”と“人”との相互理解の大切さも学びました。



▲盛り上がった講演会。もりさんの呼びかけに応じてステージにあがる飛び入り参加者もいました。

## 人権を考える集い

12月2日、市民館で「人権を考える集い」が開催され、当市出身のフォークシンガーもりいさむさんが「人間みんなちがって みんないいと 感じられる世界を！」と題して講演を行いました。童謡詩人「金子みすゞ」の詩に曲をつけ歌うもりさんは、自らの子供時代の経験を織り交ぜながら、歌を通して命あるすべてのものへのやさしさ、思いやりの気持ちの大切さを訴えました。



▲自慢の作品を手にした児童。楽しいお正月になりそうですね。

## 年賀状づくり

11月26日、赤崎児童館で年賀状づくりがあり、23人の児童が参加しました。来年の干支にちなんだ猪や、こま、紙風船のイラストに思い思いの色を塗っていき、メッセージを書き込むと、みるみるうちに自分だけの手作り作品が完成。新年最初の素敵な贈り物になることでしょう。



▲素材の色を活かした門松。一足早いお正月気分を味わいました。

## 門松づくり

12月21日、有帆小学校6年生の児童16人が冬休みを前に、門松づくりに挑戦しました。この日用意されたのは、松、梅、葉牡丹<sup>はばたん</sup>、南天など縁起のよいものばかり。地元の方の指導を受けながら、背丈ほどある竹の周りに材料を飾りつけていき、彩り豊かな4つの門松を完成させました。